

八王子市入札監理評議会 議事要旨（定例評議会）

開催日時及び場所	令和3年（2021年）5月19日（水） 13：30～15：30 802会議室（WEB会議）				
出席評議員	谷垣評議員、直井評議員、奥評議員				
抽出案件			（期間：令和2年（2020年）9月1日～令和3年（2021年）2月28日）		
区分	件数	通番	案件名	通番	案件名
1 一般競争入札（価格競争）	2件	1－①	八王子市立いずみの森義務教育学校主事室棟外1棟新築工事	1－②	八王子市立いずみの森義務教育学校主事室棟外1棟新築給排水衛生設備その他工事
2 一般競争入札（総合評価）	1件	2－①	八王子市立いずみの森義務教育学校校庭整備工事		
3 指名競争入札	1件	3－①	富士森公園野球場グラウンド整備工事		
4 随意契約	1件	4－①	上恩方町佐戸地区等農地災害復旧工事		
抽出案件ごとの質疑		通番	質問等	回答等	
		1－① 1－② （いずみの森主事室棟）	1 主事室棟新築工事と給排水衛生設備工事は、同時期に入札をしているが、最初の案件には9社も申し込みをしていて、次は申し込みが1者しかない。工事の種類が違うからということか。 2 案件にもよると思うが、分離発注をすることにより、一括発注でやるよりも、コストがかかってしまうこともあるのではないかな。 また、あまりにも登録事業者数が少ない業種であれば、入札参加者を増やしていくという意味では、他の業種と一括して発注するといった工夫も検討が必要なのではないかな。	1 登録業者数の違いによる。建築工事の方が多く給排水設備工事を含めた電気、空調などの設備工事業者全体で少ないことが、原因と考えられる。 2 特定の業種を専門としている業者が業者登録をしているため、単独で業種ごとに発注できる場合は、特別な案件を除き、八王子市に限らず、各自治体において、業種ごとに分離発注という手法をとっている。	
		2－① （いずみの森校庭整備）	1 低入札価格調査制度では、失格基準を下回れば即座に失格となるが、もう少し業者の能力や、見積もりの中身を見た上で調査するということも、この総合評価方式の中ではあっても良いのではないかな。	1 もともと、国から各自治体にこの制度を導入するようにとの通知等もあり、八王子市では、平成30年（2018年度）より導入している。基本的に、この制度は全国共通。 ただ、調査基準価格未満でかつ失格基準以上で入札した業者に対してはヒアリングを実施し、問題なく施工できると判断すれば、契約を締結している。	
		3－①	1 各事業者が、予定価格と比較して安く入札出来ているのはなぜか。積算基準というのは各案件に合わせて算出されており、市側で勝手に作るわけにはいかないだろうが、おそらくその予定価格を作る際の積算のルールが、実態と合っていない部分が相当あるのではないかな。	1 基本的には国や東京都の積算基準に基づいて、設計を起工するのが公共工事の原則。ただ、全てが積算基準には載っているわけではないため、単価がない場合は、市場価格を参考にすることもある。	
		4－①	1 この施工対象となっている箇所は、全て個人の方の所有している農地、かつ個人の方からの要請で行ったものであり、もし市が工事をしなければ、本来は各自で施工しなければならないということではないかな。	1 都を通して市と国とで調整した上で、全額国の補助金利用にて、市が工事を発注している。 本来であれば民地のため、個人が復旧をして、市を通して国の補助金を交付するが、被害範囲が広がったこと、さらに土地の所有者が複数いたことなどで、個別に対応するのが難しいという判断となり、市が発注し、復旧を行った。	
抽出案件に関する意見等		特になし			
その他運用状況等					
意見等を求める内容					
概要					
意見等		下半期の入札状況において、一般競争入札と指名競争入札を比較した際に、最低制限価格での落札の割合が一般競争入札が非常に高く、指名競争入札はそれほどでもない。くじ引きの発生件数でも同じような事が考えられる。入札の方式の違いで、こういった違いがでてくるのはなぜか。 →全体の入札状況を分析した上で、次回の評議会までに報告する。			